

市内の交通事故概況

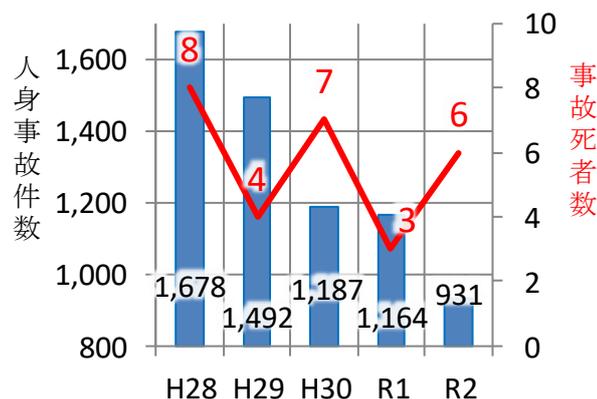
第2次交通安全計画期間中（H28～R2）における交通事故状況は以下の通り。

1 市内における交通人身事故の発生状況

交通事故件数は全国的に減少しており、交通事故死者数においても令和2年まで4年連続で過去最少を更新している。（令和2年：2,839人）

本市における死者数は小幅な増減を繰り返しているが人身事故件数は確実に減少傾向となっている。

人身事故件数及び死者数(全体)



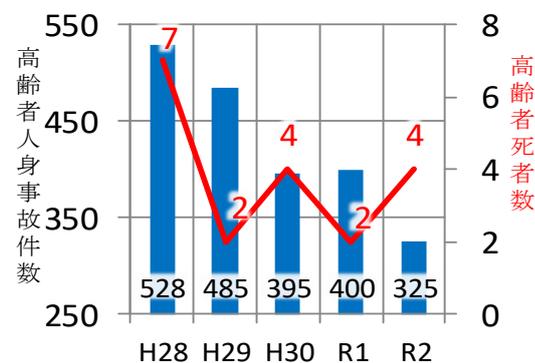
2 高齢者事故の発生状況

高齢化により高齢者人口の増が顕著となっている中、事故件数自体は減少している。しかし、死亡者数については過去5年において28人中19人(67.9%)と多数を占めており喫緊の課題と考える。

※全体に占める高齢者事故の割合（5年平均）

→33.1%

高齢者の人身事故件数及び死者数



3 自転車に関する事故の発生状況

自転車に関する事故についても、平成28年から令和2年にかけて約半数と大幅に減少しているが、全体件数からみると毎年4分の1程度を占め、高い割合となっており継続した取り組みが必要である。

※全体に占める自転車事故の割合（5年平均）

→25.1%

自転車に関する人身事故件数及び死者数

